

「ひかりの森図書館」だより

No.13<令和元年10月18日>
京都市立東総合支援学校図書館

～ゆうたはともだちの読み聞かせ～



10月3日(木)の1時から、高等部図書委員の生徒たちが、『ゆうたはともだち』という大型絵本の読み聞かせをしました。今回の絵本は、「ゆうた」という男の子と自称「おれ」という犬が主人公です。人間と犬の様々な違いはあるものの、お互いを友だちとして認め合っているというお話でした。

生徒たちは、本を読む・本をめくる・司会進行等の役割を決め、昼休みに少しづつ練習を重ね、協力して、発表の日を迎えるました。

当日は、友だちや先生方が聞きに来てくださいました。読み聞かせを聞いているみんなも、友だちについて考えるよい機会となりました。最後に皆さんから大きな拍手をもらいました。

図書館がピカピカになりました



10月8日(火)の午後に、小学部の図書・美化委員の子どもたちが、図書館を掃除してくれました。内容は、

- ① 掃除に関する絵本の読み聞かせを聞く
- ② 机の上を雑巾で拭く
- ③ 床をモップで拭く

以上の活動をしてくれました。おかげで図書館は、ピカピカになりました。「ありがとう！」

学校司書のおすすめの本～新着図書から



『アラカタカラクリコ』 きたむらさとし

うさぎのハティーが、じゅもんをとなえると・・・
ぼうしの中から、いろいろなどうぶつが出てきます。どんどん出てきて、さあ、つぎは何がとびだすかな?
わくわくしながら読みましょう。



『花・木の実・藍・野菜・葉っぱのかんたん染もの』

春田香歩

身近な植物を材料にして、かんたんに染めものができます。特別なくすりがなくても、ただ布といっしょに煮るだけでも、けっこういい色になることを教えてくれます。オールカラーで、じっさいにためしてみた色がわかります。



『5秒後に意外な結末』 桃戸ハル

2ページで終わるすごく短い100のお話。めくってみると、あっと驚く結末が待っています。すごくおもしろい? それともおそろしい? 人間の心をパズルにしたような世界が、次々に現れます。ページのうらおもてなので、本当にパズルとして読んでみるのも、ひとつの読み方かもしれませんよ。

読書の秋です

10月27日（土）～11月9日（金）は、読書推進運動協議会が定めた読書週間です。ひかりの森図書館にも、新しい本がたくさん入っています。
この機会にぜひ図書館の本をご活用ください。

読書週間のポスター・チラシを各学部の図書委員が配布する予定です。